

令和3年度 校長より ②

3週間に渡る臨時休業により、生徒や保護者の皆様をはじめ、近隣や地域の方々、本校を支えていただいている多くの方々などに多大なるご心配とご迷惑をおかけいたしましたことについて、まずは心よりお詫び申し上げます。本年度最初の新型コロナウイルス感染症患者の発生後、鎌倉保健福祉事務所からの指導助言、学校医の意見に基づき、県教育委員会と協議を重ねて対応してまいりました。この間、保護者の皆様には、生徒の自宅学習、自宅待機への対応等に全面的にご協力をいただきましたことを、改めて感謝申し上げます。

お陰様で4月28日（水）をもって臨時休業を終了し、29日（木）から教育活動を再開しました。29日（木）には、校内には朝から部活動に励むこれまでと変わらない生徒の姿が見られ、また、県内各会場には公式戦に参加する本校生徒の姿があったことと思います。

また、30日（金）には、この日が生徒たちにとって再開後最初の登校日となりましたので、校門から教室までの間において全教職員で登校する生徒たちを迎え入れました。不安もあるものと心配しましたが、生徒たちはいつものように元気な表情で登校してくれました。登校後は、全校放送で私から生徒たちに、自宅学習への取組やPCR検査の受検への感謝、十分な教育活動や大会参加ができなくなったことのお詫び、継続的な健康観察・健康管理の依頼、罹患した人に対する人権的配慮、辛い思いをした人に対するいたわりの気持ちやその分かち合い、今年度のテーマとコロナ禍の中での学校生活の推進などについてお話させていただきました。

5月1日（土）から5日（水）までの連休中は、高体連や高文連の専門部等が主催する全国大会や関東大会の各種予選会が開催され、本校の関係する部活動の生徒たちも参加しました。臨時休業の影響により、十分な準備ができない中ではありましたが、それでも生徒たちは精一杯の力を発揮してくれ、囲碁・将棋部が和歌山県那智勝浦にて7月31日・8月1日に行われる全国高等学校将棋選手権大会へ、弓道部が群馬県前橋市にて6月4日～6月6日に行われる関東高等学校弓道大会へ、ウエイトリフティング部が同じく群馬県前橋市にて6月5日・6月6日に行われる関東高等学校ウエイトリフティング競技大会へ出場することとなりました。選手、競技者となる生徒たちには、当日まで体調を整え、さらに腕を磨き、力を蓄え、本大会で納得のできるように自分の力を発揮してほしいと思っています。

今後も全国大会予選会などの各種大会が続きます。生徒たちには、「大船高校」の看板を背負い、大船高校の一員であるとの自覚と誇りを持ち、少しでも高みを目指しながら、正々堂々と大会に臨んでほしいと思っています。結果はどうあれ、そうした気持ちを持つことや姿を現すことが生徒たちの成長につながるものと考えています。

引き続き、生徒たちの成長を見守ってまいります。

令和3年5月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆